

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	病態解析演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	後期 月曜日	教室名	401 501
担 当 教 員	巽圭太 重松康之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
疾病の原因・成り立ちを理解し、その疾病の病的状態について学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験 授業課題						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料、 医歯薬出版 臨床医学概論						
《授業外における学習方法》						
臨床化学、血液学、病理学、生理機能検査学など、今まで習ってきた各専門科目内で習ってきた内容の総復習となる。各科目について見直しましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
病態解析演習は今まで習った各論の総合科目となり、臨床に最も近い内容となる。就職前の実践練習と思って頑張ってもらいたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	各疾患の成り立ちとその診断に用いられる検査について理解出来るようになる。	自作プリント		教科書の予習 講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環(不整脈、先天性、後天性、心膜症、心筋症、血圧、脈管)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	各疾患の成り立ちとその診断に用いられる検査について理解出来るようになる。	自作プリント		教科書の予習 講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸器(感染性、免疫学的、COPD、拘束性、閉塞性、胸膜、悪性腫瘍)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器・肝・胆・膵特に悪性腫瘍について理解出来るようになる。	自作プリント		教科書の予習 講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化器の構造と腫瘍について検査データから考える能力をつかせる。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器・肝・胆・膵特に悪性腫瘍について理解出来るようになる。	自作プリント		教科書の予習 講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化器の構造と腫瘍について検査データから考える能力をつかせる。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	細菌、ウイルス、原虫、真菌などによる感染症について理解出来るようになる。	自作プリント		教科書の予習 講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	さまざまな感染症について解説する。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 血液疾患・止血疾患について理解出来るようになる。	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	貧血・造血器腫瘍・止血疾患について。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 甲状腺 副腎 などによる内分泌外分泌について理解出来るようになる。	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	内分泌 外分泌 ホルモンについて。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 腎臓・生殖器疾患(糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、CKD、悪性腫瘍など)について理解出来るようになる。	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	腎臓、生殖器について。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 神経・運動系の疾患について病態と、診断に用いる検査を理解出来るようになる。	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	神経・運動系の疾患について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 アレルギー・自己免疫・膠原病の病態と検査を理解出来るようになる。	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	アレルギー・自己免疫・膠原病について。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 アレルギー・自己免疫・膠原病の病態と検査を理解出来るようになる。	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	アレルギー・自己免疫・膠原病について。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 肝臓 腎臓 膵臓 ビタミン などによる代謝について理解出来るようになる。	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	体謝・栄養障害(先天性、糖代謝、脂質代謝、蛋白体謝、ビタミン、メタボ)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 総合的な知識を得ることが出来る。①	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	総合演習①(不整脈、先天性、後天性、心膜症、心筋症、血圧、脈管)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 総合的な知識を得ることが出来る。②	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	総合演習②(感染性、免疫学的、COPD、拘束性、閉塞性、胸膜、悪性腫瘍)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 総合的な知識を得ることが出来る。③	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習
	各コマにおける授業予定	総合演習③(貧血・造血器腫瘍・止血疾患)		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	病態解析演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時間	後期 月曜日	教室名	401 501
担当教員	巽圭太 重松康之	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
疾病の原因・成り立ちを理解し、その疾病の病的状態について学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験 授業課題						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料、医歯薬出版 臨床医学概論						
《授業外における学習方法》						
臨床化学、血液学、病理学、生理機能検査学など、今まで習ってきた各専門科目内で習ってきた内容の総復習となる。各科目について見直しましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
病態解析演習は今まで習った各論の総合科目となり、臨床に最も近い内容となる。就職前の実践練習と思って頑張ってもらいたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合的な知識を得ることが出来る。④	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	総合演習④(アレルギー・自己免疫・膠原病)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合的な知識を得ることが出来る。⑤	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	総合演習⑤(内分泌 外分泌 ホルモン)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合的な知識を得ることが出来る。⑥	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	総合演習⑥(先天性、糖代謝、脂質代謝、蛋白代謝、ビタミン、メタボ)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合的な知識を得ることが出来る。⑦	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	総合演習⑦(不整脈、先天性、後天性、心膜症、心筋症、血圧、脈管)			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合的な知識を得ることが出来る。⑧	自作プリント	教科書の予習 講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	総合演習⑧(感染性、免疫学的、COPD、拘束性、閉塞性、胸膜、悪性腫瘍)			